



こんにちは、岡田よしひでです

2020年3月22日 発行
県議会活動報告ニュース
NO.31

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

物部川流域の活性化、町田堰の早期改修を

香美市の白髪山（一七七〇m）を水源とし、太平洋に注ぐ物部川は、県内一級河川の中で最も短い幹川流路延長71km、しかも最も勾配のきつい急流です。流域は香美・香南・南国の三市からなり、上流域には剣山国定公園、別府狹等があり、豊かな自然環境に恵まれています。下流域には鉄道や高知龍馬空港があり、県内最大の穀倉地帯である香長平野が開けています。

一方、短い急流に永瀬・吉野・杉田の三つのダムがあり、山の崩壊等による濁水や、豪雨による堰や堤防の被災、水不足などの問題が発生しています。



町田堰（統合堰）下流側が痛み魚道も機能不全に

流域は一つの運命共同体、みんなの力・共同の輪で森と清流の再生をめざそう”と、流域の森林組合、物部川漁協、農協、土地改良区、土佐刃物連合協組、商工会など15

団体、個人が「物部川21世紀の森と水の会」を結成して課題を共有し、行政、大学、森を守るみんなの会、海を守る会等とも協力して清流の再生や流域の活性化に取り組んでいます。

県は「物部川清流保全計画」を立てて住民の自主的活動を支援しています。企業が含めたより積極的な協力支援を求めました。

永瀬ダムの土砂撤去については、「仮置き場の増設や作業道の整備を合わせて進めることで土砂撤去を加速させていきたい」との答弁がありました。

町田堰は築造されて54年が経過し、老朽化が進んでいます。香南市が事業主体となり令和2年度に着手し、取水ゲートの改良は令和3年度までに、魚道の改良や堤本体の改修は令和6年度までに終える予定です。予算確保を含めてシッカリと支援していくと答弁。

おむすび通信 (31)

物部川の維持流量は、平成19年に国が定めた河川整備基本方針の目標量に届いておらず、関係機関と連携して検討することのこと。共産党県委員会事務所が出来上がり今月引渡し。募金目標達成まであと4百万円弱に、ぜひご協力を。

被災二ビキ 被害者に寄り添って 高知県議会 吉良氏が県を批判

日本共産党の吉良高彦高知県議は6日、県議会一般質問に立ちビキ二被災問題などをたずねました。県が昨年11月から取り組んだビキ二被災船員の健康相談会は全県で2人の参加にとどまっています。吉良氏は周知が徹底していないことなどを批判。3年前の前の回の相談会は医師の健康相談にくわえ、太平洋核被災支援センターが生活相談にも取り組むなど、船員や遺族を励ます会となったことに言及。前回と同様のやり方に戻すことや、地域を回って、元船員や遺族に寄り添うことなどを求めました。鎌倉昭浩健康政策部長は元船員の意見も聞いて検討したいと答えました。

吉良氏は、新型コロナ

た。

鎌倉昭浩健康政策部長は来年度に向けて仕切り直すかと答弁しました。